



としよしつだより



みなさんこんにちは、初秋なんて言葉がちらほら聞こえ始めた、いよいよ冬の始まりですね。暖かいおでん等、体が温まる食べ物で体力増強し初冬を乗り越えましょう！！



①図書室入口にあるさしあげますコーナーのワゴンにある本です

②楚辺公園の海で拾った軽石です、飾り物にしています。

③幼児用絵本の新書もありますよ

12月のあたらしい本として以下が入荷予定です。



内容 突然ですが占ってもいいですか？ PRESENTSとにかく「運のいい家」に住みたい！トツゼンデスガウラナッテモイデスガプレゼントニカクウンノイイエニスミタイ村野弘味ムラノヒロミ



内容 一粒万倍日、天赦日、大安、新月、満月など、2022年の「運がいい日」が一目でわかる！星ひとみ、木下レオン、シウマ、ぶりあでいす玲奈がおすすめる「運気が上がるスポット」や、運気を上げる過ごし方も月ごとに紹介しています。



内容 昭和50年代、結婚し長男も誕生して一家をかまえた漫画家つげ義春は、寡作ながらも「ねじ式」「紅い花」など評価の高い作品群が次々と文庫化され、人気を博す。生活上の安定こそ得たが、新作の執筆は思うように進まず、



映画化決定 作者の父井上光晴と、私の不倫が始まった時、作者は五歳だった。瀬戸内寂聴。一九六六年、講演旅行をきっかけに男女の仲となる二人の作家、白木篤郎と長内みはる。繰り返される情事に気づきながらも心を乱さない篤郎の美しい妻、笙子。みはると笙子、二人の愛と「書くこと」に貫かれた人間たちの生を描ききった傑作。至高の情愛に終わりはあるのか。

楚辺風土記④ウカー

ウカー

今回紹介するウカーも七御嶽（ナノウタキ）の1つです。旧集落の西側外れにある洞窟で、その中に小さな泉があり、水量はあまり多くなかったそうです。現在でも最下部に降りても、ほとんど水はないように見えます。

ウマチー（稲、麦に関するお祭り）にはヒサアライマールーといって、神行事を担当する、聖なる女性であるノロや神人（カミンチュ）が手足を洗い身を清めた場所といわれています。

ここでは、水の恩に感謝して祈りを捧げます。

戦後は米軍のゴミ捨て場にされてしまい荒廃しましたが、現在は清掃活動により米軍ゴミは取り除かれています。

洞窟はなだらかな坂になっていて敷地は広いです。どこまで続いているかはわかりませんが、奥に進んでいったら何か重大な発見があるかもと何だかロマンをかきたてられる地でもあります。



ホームページをリニューアルしました

楚辺自慢

楚辺体育振興会駅伝3位



- 1区 照屋亜怜 (清善東喜名口)
- 2区 比嘉仁美 (比嘉竜一)
- 3区 比嘉秀憲 (四男川ノ上小)
- 4区 池原順一 (善輝喜名口)
- 5区 比嘉竜一 (比嘉竜一)
- 6区 池原悠太郎 (善輝喜名口)



以上の皆さん頑張ってもらいました。総合優勝目指して幸先の良いスタートができました。選手の皆様お疲れ様でした。区間賞 5区比嘉竜一 6区池原悠太郎